

科目名	世界史探究	単位数	4 単位	実施予定授業数	140 時間
-----	-------	-----	------	---------	--------

☆学習の到達目標

学習の 到達目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。 (1) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 【知識・技能】 (2) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【思考力・判断力・表現力】 (3) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される国際人としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。 【主体的に学習に取り組む態度】
使用教科書・ 副教材 等	教科書 世界史探究「詳説世界史」 山川出版 世界史用語集 山川出版 図 説 世界史詳覧 浜島書店 新世界史要点ノート 標準編 啓隆社

☆学習計画および評価方法

学期	学習内容	月	学 習 の ね ら い (評価規準)	時数
第 1 学期	導入 2 年次の学習振り返り 第Ⅲ部 諸地域の変容・結合 第 12 章 産業革命と環太平洋革命 第 13 章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 第 14 章 アジア諸地域の動揺 第 15 章 帝国主義とアジアの民族運動	2 8 8 12 10 10	学習方法、探究活動の進め方、課題、評価の仕方についての指導。 第Ⅱ部 諸地域の交流・再編の振り返り 第Ⅲ部 課題を追究したり解決したりする活動を通して次の事項を身につけている。 ア 18 世紀後半から 20 世紀前半までの世界の歴史を学ぶ諸地域の結合が一層強まって政治・経済・文化など様々な面で相互依存するようになり、地球規模での「世界の一体化」を理解する。【知識・技能】 イ 資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につけている。【知識・技能】 ウ 世界がより一体化する過程の背景を考え、国と国との相互依存関係を理解し、その歴史的経過を表現できる様にする。【思考力・判断力・表現力】 エ 世界の一体化の過程で起こった無様な課題について主体的に追究し、よりよい社会の実現に寄与する態度を養おうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	50
	【知識・技能】 ①定期考査（80%）…考査問題の中で人物名などの用語や事柄の前後関係など、基本的な知識について扱う部分を評価の対象とする。 ②課題帳（20%）…資料から情報を読み取り、まとめる課題帳を課し、内容や提出状況を評価の対象とする。			
	【思考・判断・表現】 ①定期考査（60%）…考査問題の中で、歴史的事柄の背景や影響などについて考察・論述する問題や、複数の資料から考察したり判断したりする問題を課し評価の対象とする。 ②プレゼンテーション（40%）…歴史的事柄の背景や影響について考察し、発表する活動を評価の対象とする。			

【主体的に学習に取り組む態度】 ② 自己評価(20%)…学期末に行う授業に対する取り組みについての自己評価を評価の対象とする。 ②課題帳(40%)…課題帳の内容や提出状況を評価の対象とする。 ③プレゼンテーションの相互評価(40%)…発表活動の内容やその際の相互評価を評価の対象とする。 【1学期の評価方法】 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ数値化し、各観点を40%：40%：20%の割合で総括し、10段階評定とする。				
学期	学習内容	月	学 習 の ね ら い (評価規準)	時数
第2学期	第16章 第一次世界大戦と世界の変容	14	第Ⅲ部 第一次世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ体制下の欧米諸国、アジア、アフリカ地域の民族運動を学習する。 課題を追究したり解決したりする活動を通して次の事項を身につけている。 ア 帝国主義から第一次世界大戦に至る各国の事情とその経過を理解する 【知識・技能】 イ 資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につけている。 【知識・技能】 ウ 第一次世界大戦から戦後の社会の変容に関して、社会、民族、文化に着目させてそれぞれの特質や課題について考察し、問いを表現できる。 【思考力・判断力・表現力】 エ 第一次世界大戦から戦後の社会の変容に関して、社会、民族、文化に着目させてそれぞれの特質や課題について主体的に追究し、よりよい社会の実現に寄与する態度を養おうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 第Ⅲ部 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 ファシズムの台頭から戦争に進んでいく各国の背景、歴史的事項、大戦の終結までを学習する。 ア ファシズム国の経過、大戦へ突入していく過程を理解する。 【知識・技能】 イ 資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につけている。 【知識・技能】 ウ ファシズム国が台頭した背景、世界大戦に向かう背景に着目させてそれぞれの特質や課題について考察し、問いを表現できる。 【思考力・判断力・表現力】 エ ファシズム国が台頭した背景、世界大戦に向かう背景に着目させてそれぞれの特質や課題について考察し、戦争という手段を使わずに国際紛争を解決する方法等について自分の意見を持つ。 【主体的に学習に取り組む態度】	60
	第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	16		
		18		
		20		
	第Ⅲ部諸地域の交流・再編	22		
【知識・技能】 1学期と同様				
【思考・判断・表現】 1学期と同様				
【主体的に学習に取り組む態度】 1学期と同様				
【2学期の評価方法】 1学期と同様				
3学期	第Ⅳ部 第18章 冷戦と第三世界の台頭	20	ア 第二次世界大戦後の冷戦の東西対立の実情、第三勢力の台頭を理解した。 【知識・技能】 イ 資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につけている。 【知識・技能】 ウ 冷戦後の各地の民族紛争とその背景として歴史的にどのようなことが考えられるかについて考察し、問題点を表現できる。 【思考力・判断力・表現力】 エ 世界の歴史を通じて、自分なりの歴史観や世界観を持ち、よりよい国際社会の一員として積極的に社会に関わっていく。 【主体的に学習に取り組む態度】	30
	第19章 冷戦の終結と今日の課題	10		
【知識・技能】 1学期と同様				

	【思考・判断・表現】 1 学期と同様
	【主体的に学習に取り組む態度】 1 学期と同様
	【3 学期の評価方法】 1 学期と同様
【年間の学習状況の評価方法】 各学期の「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」について点数化したものを合計した上で、各観点を 40%：40%：20%の割合で総括し、年間の 5 段階評定とする。	